

電波時計 取扱説明書

(デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造販売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

(Y2207)

※印は販売店記入

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みのうえご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられないときは、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

お客様相談室 0120-557-005 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)
お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してある型番をお伝えください。
例 8RZ○○○ (○印は数字です。)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

! 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

! 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

! 梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

! 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

! 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

! 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

! 浴室やサウナ、温室など、高温・高温になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

! ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

! 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

! 液晶から漏れた液に素手でさわらない
液晶が破損して漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

! 下記のような場所では使わない
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。 ●ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃(液晶表示可読温度範囲0～40℃) *結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)
ソーラー発電	アモルファスソーラーセル (室内用)
補助電池(推奨)	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個
電池寿命(アルカリ乾電池)	乾電池のみで約4年* ソーラー発電(1日あたりの発電量が十分なとき)と併用で約5年 (条件:1日当たり、アラームを30秒鳴らして、3秒照明したとき)
標準電波	標準電波を受信して日付・時刻を修正
受信局	福島局/九州局自動選択
受信回数	8回/日
受信開始時刻	1時～4時、13時～16時 各時間帯の16分40秒に開始
受信ON/OFF	あり ボタン操作にて切替可能

アラーム機能	セットした時刻にアラームが鳴る	カレンダー	2011～2099年対応
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒	六曜表示	2011～2030年対応
アラーム音	電子音	温度表示	-9.9～50℃
スリープ	アラーム音が約5分間の一時停止	温度精度	±2℃ 測定範囲内
オートストップ	アラーム音が連続2分で自動停止	照明	スヌーズボタンを押すと約3秒間照明
音量調節	なし	防塵防滴機能	なし

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 取扱説明書・保証書 本書

保証書

※品名・型番	
※保証期間	お買い上げ 年 月 日より 1年間
お客様	ご氏名 様
	ご住所
	TEL() -
※販売店印(所在地、店舗名、電話番号)	

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますのでご注意ください。

- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
- お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
- お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
- 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
- お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
- ご使用中に生じる外観上の変化(ケースなどの小キズ)。
- 電池の交換。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- 指定のアルカリ乾電池をご使用ください。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池)

※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池・時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

ソーラー発電と乾電池について

この時計は明るい所ではソーラー発電、暗い所では乾電池により駆動します。ソーラー発電を併用することにより、乾電池の寿命を長くしています。

※目安として、毎日200ルクス程度の明るさで8時間発電すると乾電池の寿命が約1年延びます。

- ソーラー発電により乾電池に充電をしません。暗い所で表示が薄くなったり、消えてしまう場合は、乾電池の交換が必要です。
- ソーラー発電に使用しているソーラーパネルは、室内用ですので直射日光を浴びると劣化して発電効率が悪くなる場合があります。
- 必ず乾電池を入れてご使用ください。

乾電池の交換について

注意 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
 - 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
 - 動いていても、アルカリ乾電池の場合は最長で5年に1回定期的に交換する。
- ※マンガン乾電池を使用したときは、動いていても最長2年で電池を交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

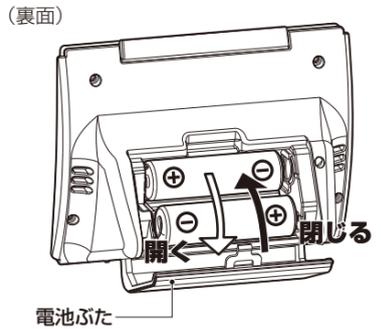
電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



正面よりやや上方から見てください。液晶は見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。



- ①リセット — 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。押すと2011年1月1日午前12:00、アラーム時刻午前6:00になります。
- ②時刻合わせ — 手動で日時を合わせるときに使用。
- ③強制受信 — すぐに電波の受信を開始させたいときに押す。
- ④時刻/日付 — 時刻と日付の表示位置を切り替えるときに押す。
- ⑤戻る — アラーム時刻や手動で日時を合わせるときに使用。
- ⑥進む — アラームのON/OFF設定。押すたびにアラームのONとOFFが切り替わります。
- ⑦アラームON/OFF — アラームのON/OFF設定。押すたびにアラームのONとOFFが切り替わります。
- ⑧スヌーズ/ライトボタン — 押すと鳴っているアラームが一時停止します。また、約3秒間液晶表示部を照明します。

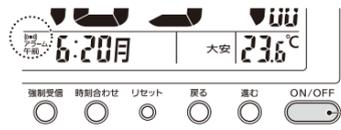
単3形アルカリ乾電池(推奨) 2個

注意

電池の⊕を逆に入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

2 アラーム機能を使う

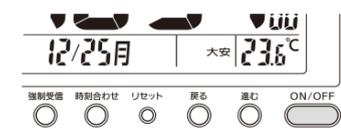
アラームボタンのON/OFF 設定



アラームON/OFFボタン
アラームON/OFFボタンを押すたびにアラームのONとOFFが切り替わります。
ON : 設定時刻にアラームが鳴る
OFF : アラームを止める、鳴らさない

アラームON時は、アラームマーク(●)とアラーム時刻が常時表示されます

アラーム時刻を合わせる



- ①アラームをOFFにする
- ②進む/戻るボタンを押してすぐ離す
「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が点滅。
- ③進む/戻るボタンでアラーム時刻を合わせる
押してすぐ離すと1分単位に、押し続けると連続して変わります。
- ④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる
※現時点でアラームはOFFのままです。必要に応じてONとOFFを切り替えてください。

■オートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分間で止まります。

■スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマーク(●)が点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク(●)は点灯表示になります。

アラームご使用上の注意

アラームスイッチがONのままでは、毎日アラームが鳴ります。使用しないときは必ずOFFにしてください。

1 使いはじめるとき 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

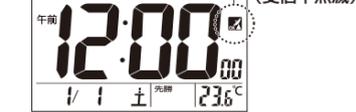
- ① 単3形乾電池を入れる
※電池の⊕を逆向きに入ると液漏れ、発熱、破裂の危険があります。
- ② リセットボタンを押す
「ピー」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。
※受信中はボタンに触れないでください。
- ③ 20分経過したら受信結果を確認する
受信時間は最長で20分です。受信マークで受信結果を確認してください。
【受信の流れと表示】参照

【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



〈受信開始〉



電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2011年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

受信マークの変化(電波サーチ機能)
電波の状態により変化します。

受信できない 受信しやすい



〈受信終了〉

最長20分後



(受信に成功したときの表示例)

- 受信マークは受信成功後、24~25時間点灯。
- 受信に成功しても、電氣的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせををして一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、**強制受信**を押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で日時を合わせて使用してください。

手動での時刻合わせ ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時/分)の順に設定してください。

年、月、日、時刻(時/分)でのボタン操作
点滅している数値を進むまたは戻るで合わせるから時刻合わせを押します。

ボタン	押してすぐ離す	押し続ける
進む	1つ進む	早送り
戻る	1つ戻る	早戻し

- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラーム状態やアラーム時刻が点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。
- ※アラーム状態とは、アラームが鳴っている、またはスヌーズ機能を使用している状態です。

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に進むまたは戻るボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯して、受信を中止します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押して、再度受信を開始させてください。

受信成功
受信マークが点灯

受信マーク消灯
失敗!

※受信に失敗した場合は、時刻や日付は正しくありません。

(受信に失敗したときの表示例)

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

3 時刻・日付表示位置の切り替え

時刻優先



日付優先



時刻/日付ボタン: 押すと表示位置が変わります。 ※アラーム状態とは、アラームが鳴っている、またはスヌーズ機能を使用している状態です。

- 電波の受信中 ●アラーム状態※ ●アラーム時刻、カレンダー、時刻の設定中。

4 表示面の照明

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。

5 曜日と六曜表示



○六曜は旧暦の月と日から導きだされ、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類があります。六曜は慣習として使われていますが公的な機関が定めたものではありません。
○六曜は2011~2030年まで対応。2030年以降は表示されません。

6 温度表示

本製品は、一般的な家庭やオフィスの室内用です。

- ▶直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
- ▶温室、プール、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中、屋外などでは使用しないでください。空気がよく循環する所に設置してください。設置した所の高低によっても違いがでます。
- Ⓢ温度の厳密な管理、温度の証明や取引には使用できません。
- センサーが時計内部にあるため、すぐには周囲の温度の変化を反映しません。
- 温度が測定範囲を超えたときの表示。
HH.H: +50℃を超える高温 LL.L: -9.9℃未満の低温

電波時計について

電波時計とは

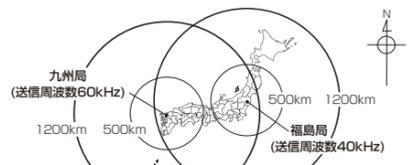
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおかたかや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jijy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能OFF(無効にして手動で時刻を合わせる)

- リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。
- 「ピー」と鳴ってから押してください。
- OFFになると「ピー」と鳴りません。
- 日付と時刻は手動で合わせてください。

受信機能ON(有効にして受信を開始する)

- 戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押して離すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後戻るボタンを離してください。
- 標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。

強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを押すと受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。次のようなときは受信を開始しません。
●アラームが鳴っているときやスヌーズ中
●手動で時刻またはアラーム時刻を設定しているとき
●受信機能がOFFになっているとき

リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2011年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00になります。受信機能がONのときは、受信を開始します。